

2014年2月3日

報道関係各位

田辺三菱製薬株式会社

**新規アルツハイマー型認知症治療剤 MT-4666
国際共同第3相試験を開始**

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：土屋 裕弘）は、当社がエンヴィヴォ社（米国マサチューセッツ州）から導入した MT-4666（EVP-6124、米国一般名：encenicline）、について、このたびエンヴィヴォ社がアルツハイマー型認知症の患者を対象とした国際共同第3相試験を開始したことをお知らせいたします。

MT-4666は新規 $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体アゴニスト作用を有する化合物です。当社は、2009年3月にエンヴィヴォ社より本剤の日本を含むアジア地域における独占的研究・開発・販売および製造権を取得し、国内でアルツハイマー型認知症の患者さんを対象に開発を進めています。当社は、エンヴィヴォ社が主導する国際共同第3相試験へ参画し、今春にも日本で本試験を開始する予定です。

国際共同第3相試験は、米国、欧州、日本およびその他の地域で、これまでにアセチルコリンエステラーゼ阻害薬などの治療を受けておられた、または現在も治療を受けておられる約1,600名の軽度～中等度のアルツハイマー型認知症の患者さんを対象にプラセボ対照、無作為化二重盲検試験（1日1回、2用量）を実施し、安全性と有効性を評価します。

田辺三菱製薬は、国際共同第3相試験への参画を通して MT-4666 の開発を加速させ、アルツハイマー型認知症の患者さんに有用な治療薬を一日でも早く提供することができるようエンヴィヴォ社と協力してまいります。

以上

《 本件に関するお問い合わせ先 》
田辺三菱製薬株式会社 広報部
TEL:06-6205-5211